

町長の基本方針は



岡田 聡 議員

町長

誇りを持てる町を目指す



子育て世代が増えた大山口南団地

【岡田】 合併算定替えの縮減率が5割から7割となり、普通交付税が2億円も減少見込みの状況の中で、予算編成方針は。

【町長】 誰もが地域に誇りを持って住み続けられる町を目指すというのを基本方針としている。

【岡田】 歳入確保、歳出削減にどう取り組んだか。事業の結果を評価し反映すべきだが。

【町長】 ふるさと納税などの強化、子育て世代が増える事での税収増、産業振興などを目標にしている。

歳出削減では、事務事業評価による効果の検証、事業の統合や見直しを行っている。

【岡田】 名和陸上競技場修繕工事1億5000万円はなぜ今年度計上か。

【教育長】 公認更新の最後の機会であり、新たにやれば費用が増加する。

青少年の競技力の向上に不可欠な施設と考えている。

【岡田】 町債10億円超も、安易な依存では。

【町長】 補正を加えた前年度と同程度となっている。

高齢者の健康づくりは

町長

介護予防教室を 集落内で検討している

【岡田】 高齢化率が上昇する現状にあつて、高齢者対策も地域の活力維持のために必要な施策である。

安心して住み慣れた町で生涯を送ることが多くの人々の願いだ。

健康づくりや社会との関わりを持つことが健康寿命の維持に大きく寄与する。人々が集える場の提供と指導者の支援が出来ないか。

【町長】 介護予防教室が集落の公民館で出来ないか検討したい。

【岡田】 地域包括ケアシステムの充実・機能強化はどうか。

【町長】 通院・通所・在宅医療、そして介護予防、配食サービスなどが包括的に行われるように進めたい。

【岡田】 認知症初期集
中支援チームの設置
や、認知症の小中学生への教育は。

【町長】 チームは来月設置予定にしている。

【教育長】 学校においても、高齢社会の現状や認知症を含む高齢者に対する理解を深めるような教育を推進したい。



お年寄りを大切に